



北海道債のご案内

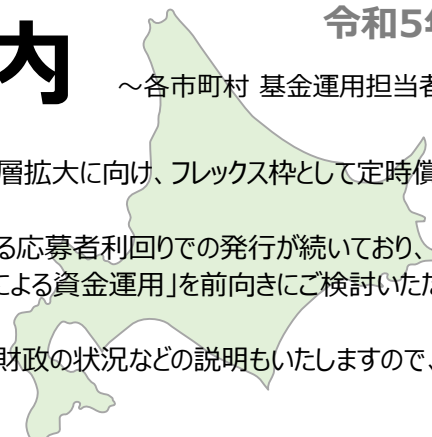
令和5年度版

～各市町村 基金運用担当者様 宛

道では、5年債及び10年債を定期的に発行しているほか、道債の投資家層拡大に向け、フレックス枠として定時償還債を中心とする年限を市場環境に応じて発行しております。

現在、金利が低位に推移する情勢下にあります。地方債は国債を上回る応募者利回りでの発行が続いており、各種基金等の運用において、地元である北海道を応援する観点からも「北海道債による資金運用」を前向きにご検討いただきますようお願いいたします。

なお、道債での基金運用をご検討いただくにあたり、道債の発行状況や道財政の状況などの説明もいたしますので、運用をお考えの場合は道財政課資金係までお気軽にご連絡ください。



北海道債の発行予定（令和5年度）

- 10年債を偶数月、5年債を奇数月に定期定例的に発行しております
- なお、共同債・5年債・10年債は「シ団方式」、フレックス枠については「主幹事方式」による発行としております
- 詳細につきましては、各引受証券会社もしくは北海道総務部財政課までお問合せください

(単位：億円)

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
共同債(10年債)	100	100	100	100	50	100	50	50	-	-	-	-	650
5年債	-	100	-	100	-	100	-	100	-	100	-	100	600
10年債	200	-	200	-	200	-	200	-	200	-	200	-	1,200
フレックス枠	市場環境に応じて発行												200

※令和5年3月時点での計画であり、市場環境・資金需要次第で変更となる可能性もございます

令和5年度の北海道債の取扱金融機関

- 以下の金融機関にて取り扱いを行っております

5年債・10年債 (共通)	北洋銀行、みずほ銀行、北海道銀行、三菱UFJ銀行、信金中央金庫 野村證券、大和証券、SMBC日興証券、みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券 東海東京証券、岡三証券、しんきん証券、ゴールドマン・サックス証券、BNPパリバ証券
フレックス枠	大和証券、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券

令和4年度の発行実績

- 昨年度は以下の金利水準にて発行しております。

10年債			5年債			30年定時償還債		
条件決定日	発行額	利率	条件決定日	発行額	利率	条件決定日	発行額	利率
2022/4/8	200億円	0.294%	2022/5/13	100億円	0.070%	2022/10/7	100億円	1.011%
2022/6/8	200億円	0.314%	2022/7/8	100億円	0.110%	*平均残存年数は16.77年		
2022/8/5	200億円	0.300%	2022/9/7	100億円	0.115%			
2022/10/7	200億円	0.444%	2022/11/9	100億円	0.210%			
2022/12/7	200億円	0.554%	2023/1/12	100億円	0.384%			
2023/2/7	200億円	0.740%	2023/3/8	100億円	0.334%			

※令和5年度の発行金利については、発行時の市場環境等に応じて決定致します

お問い合わせ先・HPアクセス先

- 発行計画・実績、取扱金融機関等については、道のHP「北海道債・IR情報」でもご確認いただけます
- ご不明な点等は、下記までお気軽にお問い合わせください

北海道総務部財政局財政課資金係



011-204-5300
(直通)



<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zsi/zaisei/dosai/top.htm>
(道HPのトップページ右側の「北海道債の情報」をクリック)

※本紙は、情報提供を目的としたものです

定時償還地方債の特徴と基金運用における活用方法について

- 定時償還は償還日に一度に全額を償還するのではなく、発行日から一定期間を据え置いた後、一定額を定期的に償還していき、残額を最終償還日に償還する債券です
- 市区町村を中心とする自治体においては基金運用にて「ラダー運用」と呼ばれる運用を行っている場合が一般的です。定時償還債は購入することにより自動でラダーが構築されるため、事務手間の観点からメリットが認められます
- 北海道では定時償還債による資金調達を活用しているため、地元の応援としても購入を検討いただけますと幸いです

定時償還債とは

定時償還債の概要

定時償還は償還日に一度に全額を償還するのではなく、発行日から一定期間を据え置いた後、**一定額を定期的に償還**していき、残額を最終償還日に償還する方法。

一定額ずつ**途中償還する部分をそれぞれ一つの債券**とみなし、基準日から途中償還日までの期間を元本償還額で加重平均したものを「**平均償還年限**」という。平均年限は発行日から償還日までの実際の年限よりも短くなる。

平均償還年限の考え方

定時償還の場合、途中償還する部分をそれぞれ一つの債券とみなし、投資額を合計し、償還年限の平均値を求めたものが平均償還年限となる。

$$(\text{期間} \times \text{償還額}) \text{の総額} \div \text{額面} = \text{平均償還年限}$$

定時償還債の特徴

- 地方自治体発行で**償還は額面100%**
- 信用リスクは満期一括償還地方債と同等
- 利払日毎に**一定額ずつ額面が償還**（償還率や据置期間は債券によって異なる）

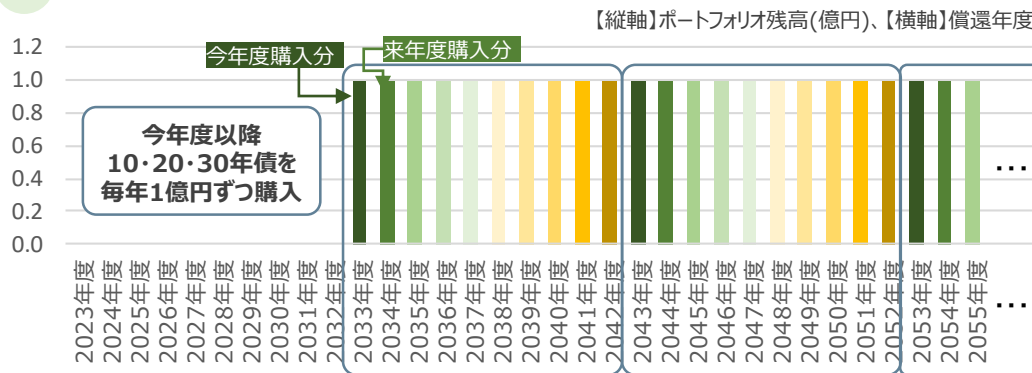
定時償還債を償還年限毎の別の債券とみなすと・・・

ラダー型ポートフォリオを組むことと同義

⇒ **市町村の運用として一般的なラダー構築を手軽に行うことが可能！**（詳細は下記参照）

ラダー運用について

ラダー運用のイメージ



2023年度より、毎年10・20・30年債を1億円ずつ購入し、1億円×30年のラダー構築

【懸念点】ラダーの完成まで10年間毎年購入する必要あり

定時償還債を用いたラダー運用のイメージ

※実際の商品性等はフレックス枠の主幹事にご確認ください



2024年度以降1億円ずつ償還がなされる = 事実上の1億円×30年のラダーが自動構築される

地元銘柄である北海道債を用いたラダー構築が可能